

2022年2月22日



**同居する 18 歳未満の子どもがいる人で過去 1 年間に  
「子連れ外食」を実施した人 84.4%  
コロナ禍の「子連れ外食」のキーワードは「車で」「ロードサイド店」  
同居する 18 歳未満の子どもとの外食の実態調査（2022 年 1 月実施）**

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）の外食市場に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメ外食総研」（<https://www.hotpepper.jp/ggs/>）は、首都圏・関西圏・東海圏の男女約 1 万人を対象とするアンケートを実施し、その中で同居する 18 歳未満の子どもがいる人 2,270 名を対象に、「子連れ外食」の実態につきまして集計を実施しましたので、その結果を発表いたします。

## <要約>

### POINT1 同居する 18 歳未満との「子連れ外食」の過去 1 年間の実施率は 84.4%

・・・P3

▶「過去 1 年間で同居する 18 歳未満の子どもと一緒に外食をした」84.4%。30 代女性で最も実施率が  
高く 86.6%。

### POINT2 コロナ禍での 18 歳未満との「子連れ外食」は、 「車で」「ロードサイド店」がキーワード

・・・P4-7

▶過去 1 年間で 18 歳未満の「子連れ外食」をした実施内容として多いものは、食事の種類では「夕食」  
(76.0%)、「昼食」(72.0%)、お店の種類は「食事主体のお店」(92.0%)、曜日は「土曜日」(74.9%)、「日  
曜日」(72.2%)、お店の立地では「ショッピングセンター等商業施設内」(53.0%)、「ロードサイド」(48.4%)、  
お店への行き方は「自家用車」(74.9%) 等。

▶過去 1 年間で「子連れ外食」を実施した人・しなかった人を比較すると、差分の大きかった選択肢は、  
お店への行き方では「自家用車」、お店の立地では「ロードサイド」であった。コロナ禍で「子連れ外食」  
をしている人の特徴を示すキーワードとなっている。

### POINT3 コロナ禍で「子連れ外食」に行った人の

#### 外食目的のトップは「自炊の手間を減らすため」57.8%

・・・P7-9

▶過去 1 年間の同居する 18 歳未満と「子連れ外食」を行った人の外食目的は、「自炊の手間を減らすた  
め」(57.8%)、「普段、家では作ることができないような料理を食べるため」(57.1%)。

▶子どもと一緒に外食する際の店選びで重視する点は、「価格帯が手ごろなこと」(66.2%)、「子ども向け  
メニューが充実していること」(49.6%)、「衛生対策・コロナ対策がしっかりしていること」(47.3%)。

本件に関する  
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

2022年2月22日

## 調査概要と回答者プロフィール

①調査目的	本調査の協力者を募集するために実施
②調査時期	2021年11月19日（金）～2021年11月30日（火）
③調査対象	首都圏、関西圏、東海圏に住む20～69歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）
④調査内容	本調査への協力意向、普段の夕食頻度、普段の中食頻度
⑤配信数	484,500 件
⑥回収数	32,349 件
⑦本調査対象者数	15,916 件

- ◆本調査対象者の割付について
- ・本調査では、回答者の偏りをできるだけなくすために、割付を行って回収した。
  - ・性年代別10区分×地域別25区分（首都圏地域13区分、関西圏地域8区分、東海圏地域4区分）=250セルについて、平成30年人口推計（総務省）に基づき割付を行った。
  - ・本調査の目標回収数は、首都圏4,000s、関西圏2,000s、東海圏2,000s、合計8,000sとした。

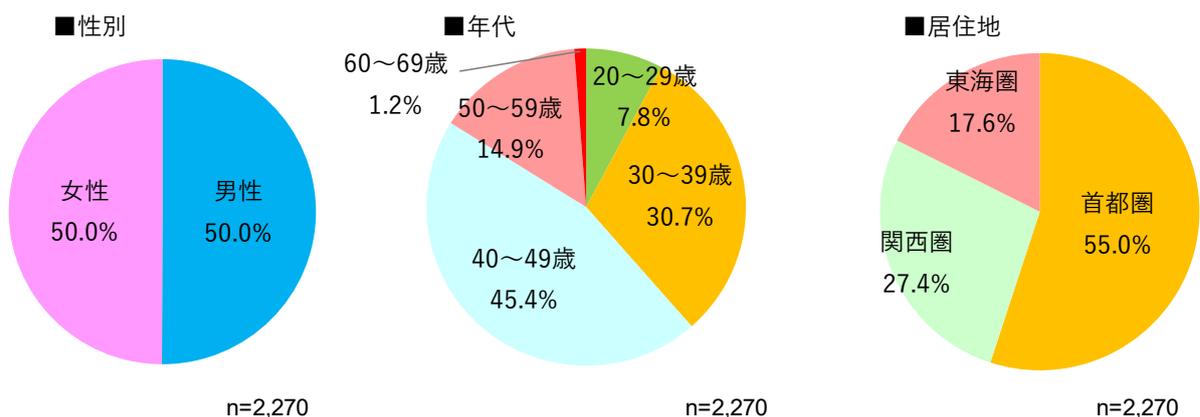
### ■本調査

①調査方法	・事前調査で本調査への協力意向が得られたモニターの中から、脱落率を加味して設定した必要数をランダムに抽出し、本調査の案内メールを通知。	
②調査期間	2022年1月4日（火）～2022年1月12日（水）	
③配信数	12,093 件	
④回収数	9,813 件	（回収率 81.1 %）
⑤有効回答数	2,349 件	※同居する18歳未満の子どもがいる人を抽出 （首都圏 1,113 件、 関西圏 608 件、 東海圏 628 件）

※回収された票のうち、自由回答コメントから、趣旨に合わないと思われる票を無効としたほか、事前調査時の普段の夕食・中食頻度の回答と、本調査時の1カ月間の夕食・中食回数が著しく乖離している場合、事前調査時の住所と、本調査時の住所が、圏域を越えて変わっている場合を無効とした。

- ◆集計方法について
- ・本調査結果は、平成30年人口推計（総務省）における割付（性年代別10区分×地域別25区分=250セル）別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウェイトバック集計を行っている。
  - ・補正後のサンプル数は次の通り。  
3圏域・計 2,270 件（首都圏 1,249 件、 関西圏 622 件、 東海圏 399 件）

### ◆回答者プロフィール（ウェイトバック後）

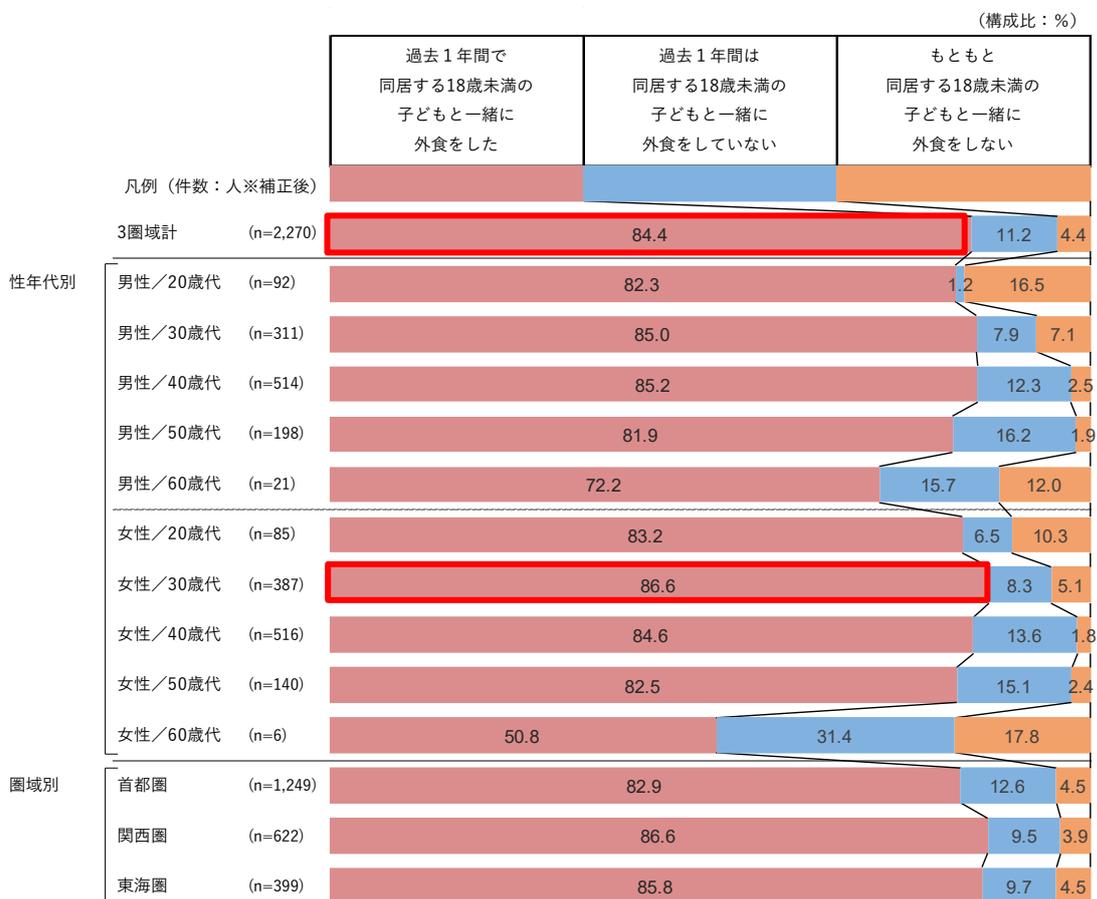


2022年2月22日

## 1. コロナ禍でも18歳未満の「子連れ外出」の過去1年間の実施率は84.4%と高い

コロナ禍において、会社や仕事関係の相手との外出が減ったことから相対的に家族や親族との外出のシェアが増加している（弊社・2021年9月リリース「2020年度外出&中食動向」より）。そこで、家族との外出の中でも特にコロナ禍の影響を受けそうな、子どもとの外出状況の把握を目的に、同居する18歳未満との「子連れ外出」の実態について尋ねるアンケート調査を行った。外出の実施の有無については、「過去1年間で同居する18歳未満の子どもと一緒に外出をした」が84.4%で、多くの家庭で「子連れ外出」が行われていたことがわかった。性年代別（60代男女ではサンプル数が少なく参考値）では、30代女性で「過去1年間で同居する18歳未満の子どもと一緒に外出をした」が他の性年代に比べて最も高く86.6%であった。子育て世代である20~50代男女の外出実施率は大差ないことから、子どもの年齢の高低はコロナ禍での「子連れ外出」の実施に大きく影響しなかったと考えられそうだ。

### 同居する子どもとの外出の状況／18歳未満の子どもとの過去1年間の外出有無（同居する18歳未満の子どもがいる人／単一回答）



※「過去1年間で同居する18歳未満の子どもと一緒に外出をした」：「過去1年間もそれより前も、同居する小学生未満の子どもと一緒に外出をした」「過去1年間で同居する小学生未満の子どもと一緒に外出をしたが、それより前には外出をしていなかった」「過去1年間もそれより前も、同居する小学生以上18歳未満の子どもと一緒に外出をした」「過去1年間で同居する小学生以上18歳未満の子どもと一緒に外出をしたが、それより前には外出をしていなかった」のいずれかを回答した人を集計

※「過去1年間は同居する18歳未満の子どもと一緒に外出をしていない」：「過去1年間はコロナ禍のため同居する小学生未満の子どもと一緒に外出をしていないが、それより前には外出をしていた」「過去1

2022年2月22日

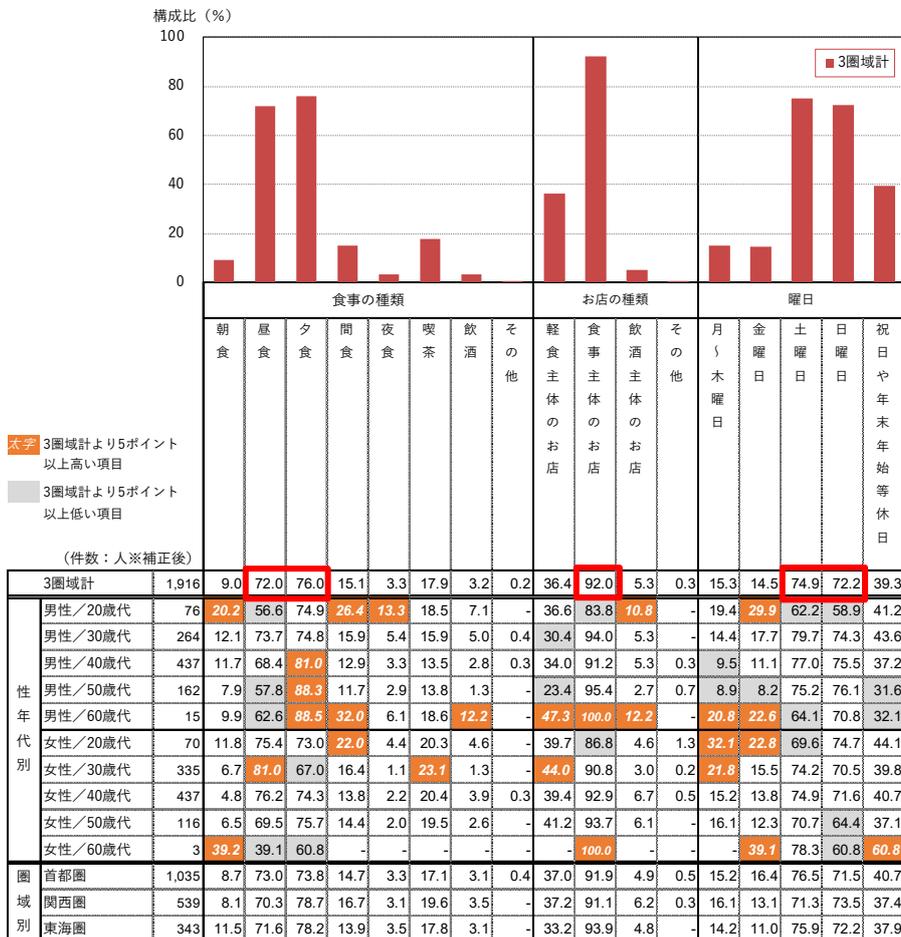
年間はコロナ禍とは関係なく同居する小学生未満の子どもと一緒に外食をしていないが、それより前には外食をしていた」「過去1年間はコロナ禍のため同居する小学生以上18歳未満の子どもと一緒に外食をしていないが、それより前には外食をしていた」「過去1年間はコロナ禍とは関係なく同居する小学生以上18歳未満の子どもと一緒に外食をしていないが、それより前には外食をしていた」のいずれかを回答した人を集計

※「もともと同居する18歳未満の子どもと一緒に外食をしない」：「過去1年間に限らず、もともと同居する小学生未満の子どもと一緒に外食をしない」「過去1年間に限らず、もともと同居する小学生以上18歳未満の子どもと一緒に外食をしない」のいずれかを回答した人を集計

## 2. 実施率の高い「子連れ外食」は「週末」「車で」「ショッピングセンターやロードサイド」

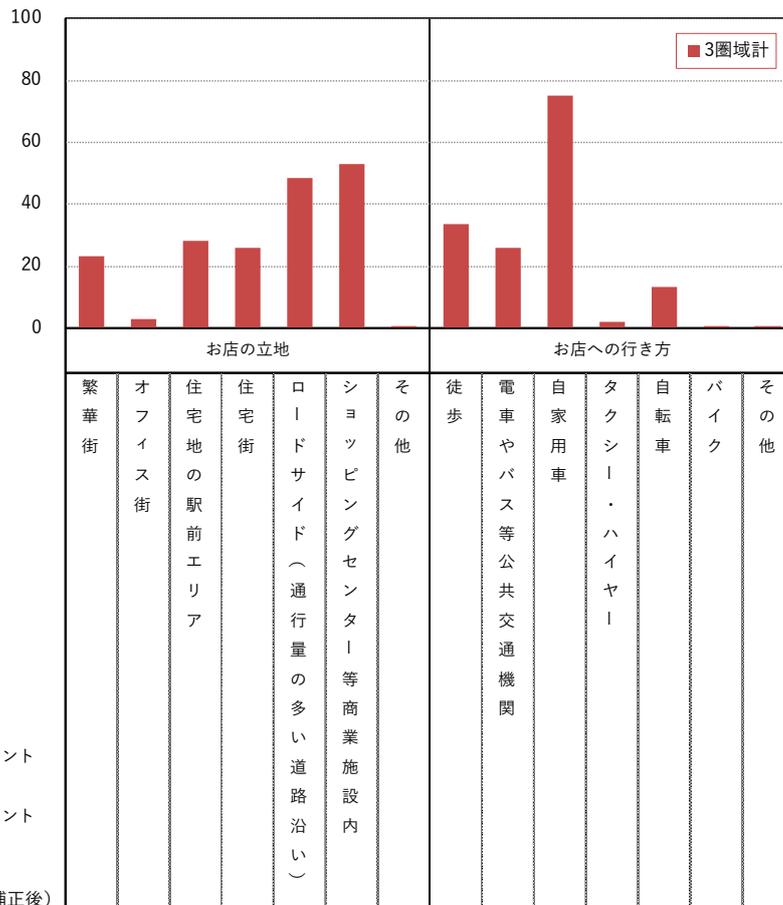
18歳未満の「子連れ外食」の実施内容を尋ねた。食事の種類では「夕食」(76.0%)、「昼食」(72.0%)が、お店の種類は「食事主体のお店」(92.0%)が、曜日としては「土曜日」(74.9%)、「日曜日」(72.2%)が多かった。さらに、お店の立地（以降のデータは次ページ参照）では「ショッピングセンター等商業施設内」(53.0%)、「ロードサイド」(48.4%)が、お店への行き方では「自家用車」(74.9%)が高かった。東海圏では、特にお店への行き方で「自家用車」が94.0%と他の圏域を大きく上回っている。

同居する子どもと一緒に外食した際の状況／過去1年間（同居する18歳未満の子どもがいる、かつ過去1年間に子どもと一緒に外食した人／複数回答）



2022年2月22日

構成比 (%)



太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

■ 3圏域計より5ポイント以上低い項目

(件数：人※補正後)

3圏域計		1,916	23.1	2.9	28.1	25.9	48.4	53.0	0.6	33.5	26.1	74.9	2.1	13.4	0.5	0.3
性 年 代 別	男性/20歳代	76	42.5	11.4	37.0	22.3	40.1	43.0	-	25.1	40.0	65.4	12.9	9.9	2.3	-
	男性/30歳代	264	22.0	6.4	26.9	26.4	48.4	52.3	-	31.7	27.3	77.9	3.5	11.4	0.6	0.4
	男性/40歳代	437	21.8	2.9	26.5	24.4	56.8	46.7	0.9	30.1	21.8	78.4	1.1	10.8	0.4	0.3
	男性/50歳代	162	30.4	2.1	33.3	24.3	50.4	40.9	0.6	34.6	23.5	71.9	0.6	8.6	1.3	0.6
	男性/60歳代	15	48.6	6.1	28.2	28.2	54.6	44.0	-	26.6	39.2	78.0	9.9	17.8	6.1	-
	女性/20歳代	70	24.6	1.7	21.5	27.6	30.5	71.3	1.7	30.3	26.8	74.3	4.5	13.1	-	-
	女性/30歳代	335	19.6	1.8	24.5	24.1	45.3	59.1	0.2	36.2	24.2	75.2	2.1	12.9	0.3	-
	女性/40歳代	437	22.5	1.1	29.3	28.0	45.6	58.9	1.1	37.3	29.4	72.4	0.7	18.2	-	0.8
	女性/50歳代	116	17.1	1.6	34.6	32.5	47.8	52.5	0.8	36.2	25.6	73.4	-	19.8	-	-
女性/60歳代	3	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	
圏 域 別	首都圏	1,035	26.9	2.9	34.1	25.8	43.8	52.6	0.8	42.7	32.7	66.2	2.7	14.9	0.4	0.3
	関西圏	539	22.2	3.2	26.1	23.3	50.9	52.5	0.7	28.8	24.5	79.5	1.3	16.3	0.3	0.6
	東海圏	343	13.4	2.8	13.4	30.4	58.5	54.7	0.2	13.3	8.5	94.0	1.5	4.4	0.8	-

2022年2月22日

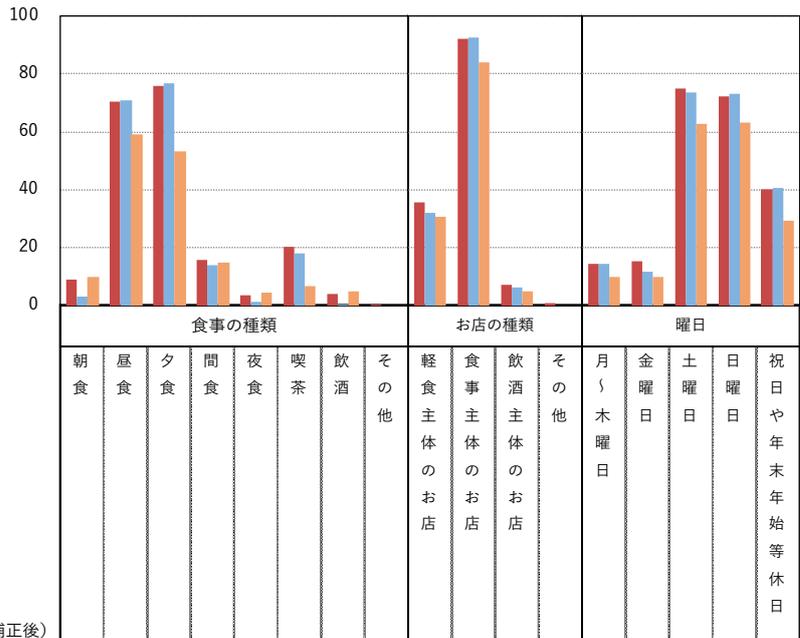
### 3. コロナ禍での18歳未満の「子連れ外食」の特徴は、「車で」「ロードサイド店」

18歳未満の「子連れ外食」の実施内容を過去1年間で「外食をした」（下図棒グラフ・赤）と過去1年間は「外食をしていない」（同・青とオレンジ）に分けて比較すると、食事の種類、お店の種類、曜日では明確な差がないが、お店の立地（以降のデータは次ページ参照）では「ロードサイド」で、お店への行き方で「自家用車」で差が見られた。コロナ禍で比較的安心に移動できる「自家用車」を選んだ結果「ロードサイド」の店に行っているのか、「ロードサイド」の店に移動するための手段で「自家用車」を利用したのか、どちらが原因もしくは結果であるのかについてはこの調査からは断定できないが、この2つのキーワードは、コロナ禍で「子連れ外食」をしている人の特徴をあらわしていると言えそうだ。

同居する子どもと一緒に外食した際の状況／過去1年より前【18歳未満の子どもとの過去1年間の外食パターン別】（同居する18歳未満の子どもがいる、かつ過去1年間に子どもと一緒に外食した人／複数回答）

■ 過去1年間で同居する18歳未満の子どもと一緒に外食をした  
 ■ 過去1年間はコロナ禍のため同居する18歳未満の子どもと一緒に外食をしていないが、それより前には外食をしていた  
 ■ 過去1年間はコロナ禍とは関係なく同居する18歳未満の子どもと一緒に外食をしていないが、それより前には外食をしていた

構成比 (%)



赤字 3圏域計より5ポイント以上高い項目  
 灰色 3圏域計より5ポイント以上低い項目

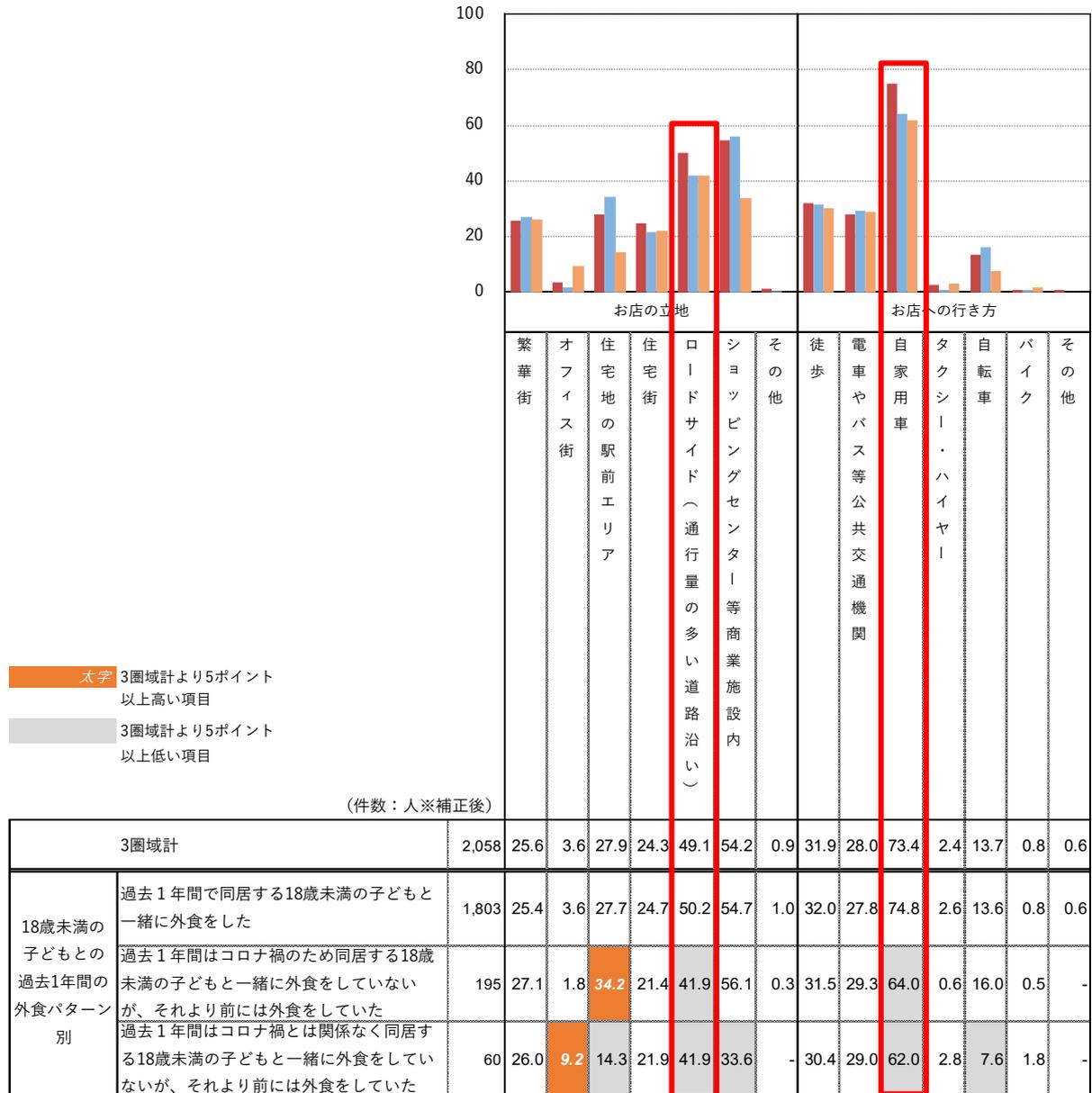
(件数：人※補正後)

3圏域計		2,058	8.5	70.1	75.4	15.6	3.2	19.4	3.7	0.5	35.3	92.1	6.8	0.6	14.2	14.6	74.3	72.0	39.9
18歳未満の子どもとの過去1年間の外食パターン別	過去1年間で同居する18歳未満の子どもと一緒に外食をした	1,803	9.0	70.5	76.0	15.9	3.3	20.0	4.1	0.5	35.8	92.3	7.0	0.7	14.3	15.1	74.8	72.2	40.2
	過去1年間はコロナ禍のため同居する18歳未満の子どもと一緒に外食をしていないが、それより前には外食をしていた	195	2.8	70.7	76.9	13.7	1.3	17.7	0.3	-	31.8	92.4	6.1	-	14.2	11.5	73.7	72.9	40.6
	過去1年間はコロナ禍とは関係なく同居する18歳未満の子どもと一緒に外食をしていないが、それより前には外食をしていた	60	9.9	59.0	53.2	14.7	4.5	6.5	4.8	-	30.8	84.1	5.0	-	9.9	10.0	62.7	63.0	29.5

2022年2月22日

- 過去1年間で同居する18歳未満の子どもと一緒に外食をした
- 過去1年間はコロナ禍のため同居する18歳未満の子どもと一緒に外食をしていないが、それより前には外食をしていた
- 過去1年間はコロナ禍とは関係なく同居する18歳未満の子どもと一緒に外食をしていないが、それより前には外食をしていた

構成比 (%)

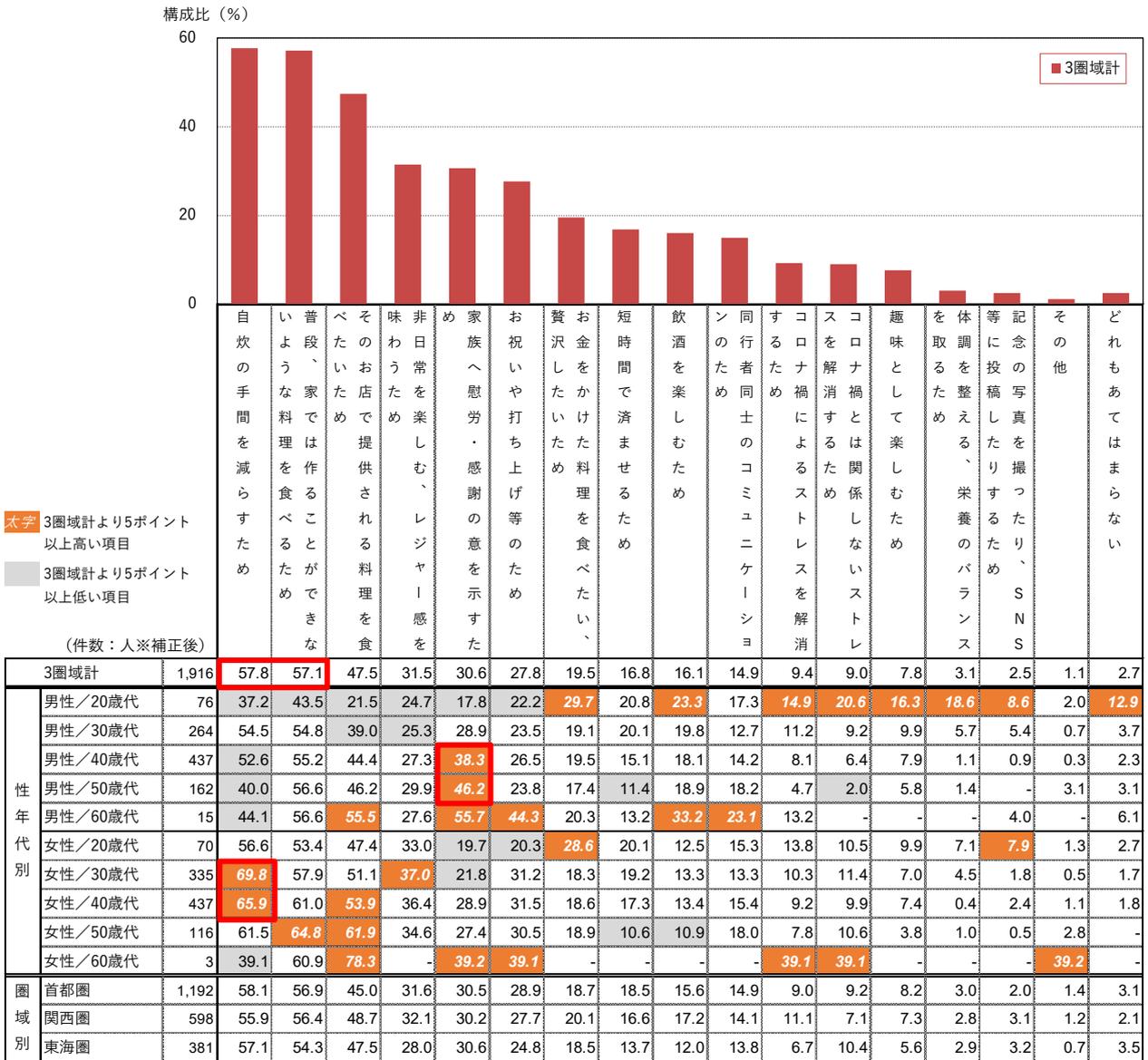


#### 4. コロナ禍で「子連れ外食」を行った人の外食目的「自炊の手間を減らすため」57.8%

過去1年間に同居する18歳未満の「子連れ外食」を行った人の外食目的を尋ねた。最多は「自炊の手間を減らすため」が57.8%、2位は「普段、家では作ることができないような料理を食べるため」が57.1%で、上位2つの選択肢が5割を超える目的として選ばれた。性年代別(60代男女ではサンプル数が少なく参考値)では、30・40代女性で「自炊の手間を減らすため」が高く、40・50代男性では「家族へ慰労・感謝の意を示すため」が高くなっている。「子連れ」であるかどうかに関わらず、外食の主要な目的として、注目したいデータである。

2022年2月22日

外食する時の目的（同居する18歳未満の子がいる、かつ過去1年間に子どもと一緒に外食した人／複数回答）



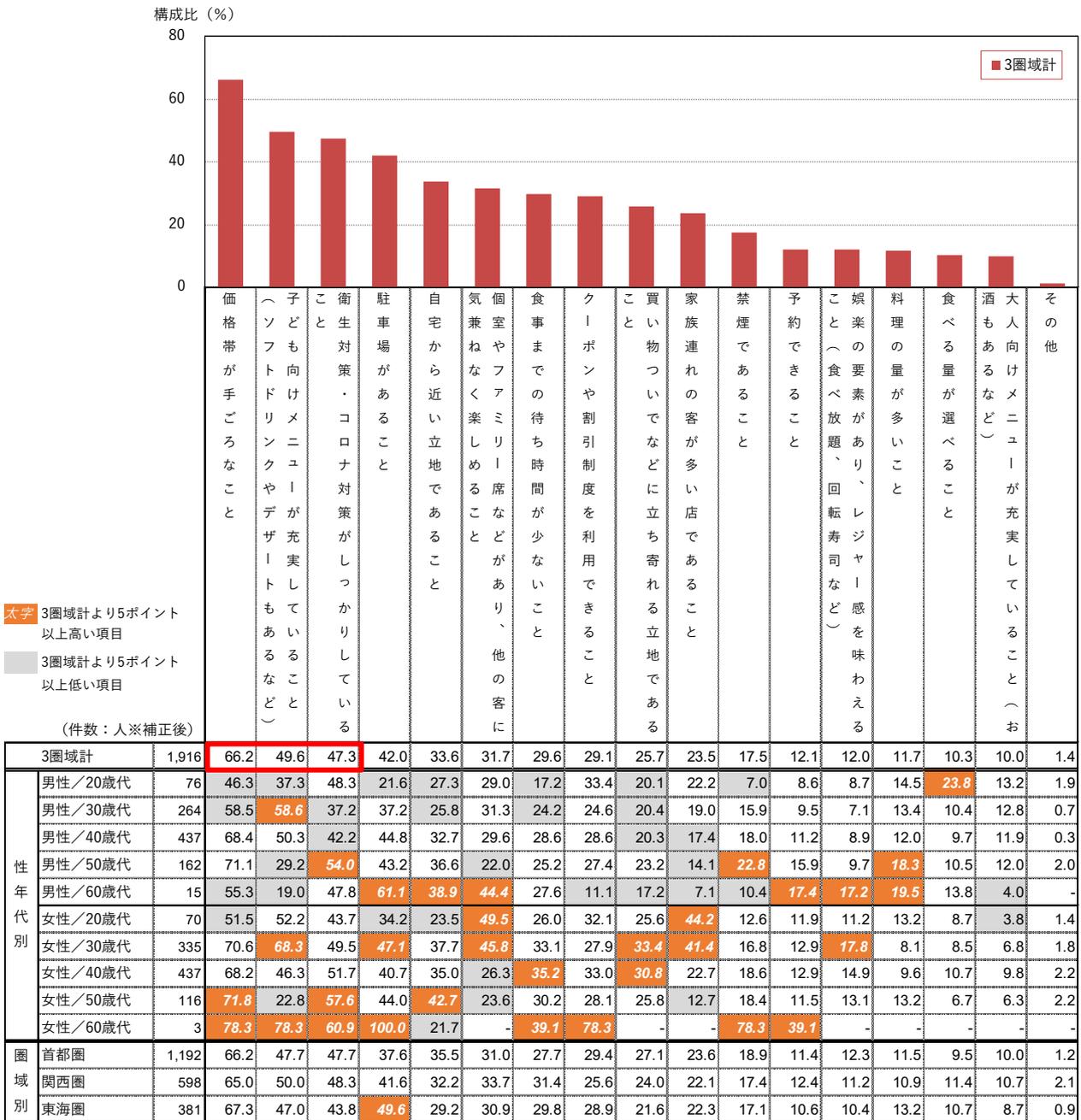
※「3圏域計」の多い順にソート

## 5. 「子連れ外食」の店選び重視点トップは「価格帯が手ごろなこと」66.2%

子どもと一緒に外食する際の店選びで重視する点では、「価格帯が手ごろなこと」(66.2%)が最も多く選ばれ、2位は「子ども向けメニューが充実していること」(49.6%)、3位は「衛生対策・コロナ対策がしっかりしていること」(47.3%)が選ばれた。18歳未満の「子連れ外食」実施率が最も高かった30代女性では、多くの項目が選ばれ多岐にわたる関心がうかがわれるが、特に「子ども向けメニューが充実していること」「個室やファミリー席などがあり、他の客に気兼ねなく楽しめること」「家族連れの客が多い店であること」では、全体平均を大きく上回る割合を示しており、他の性年代よりもこだわりの強い項目であると言える。

2022年2月22日

子どもと一緒に外出するとき、お店選びで重視すること（同居する18歳未満の子どもがいる、かつ過去1年間に子どもと一緒に外出した人／複数回答）



2022年2月22日

## リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/>

リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>